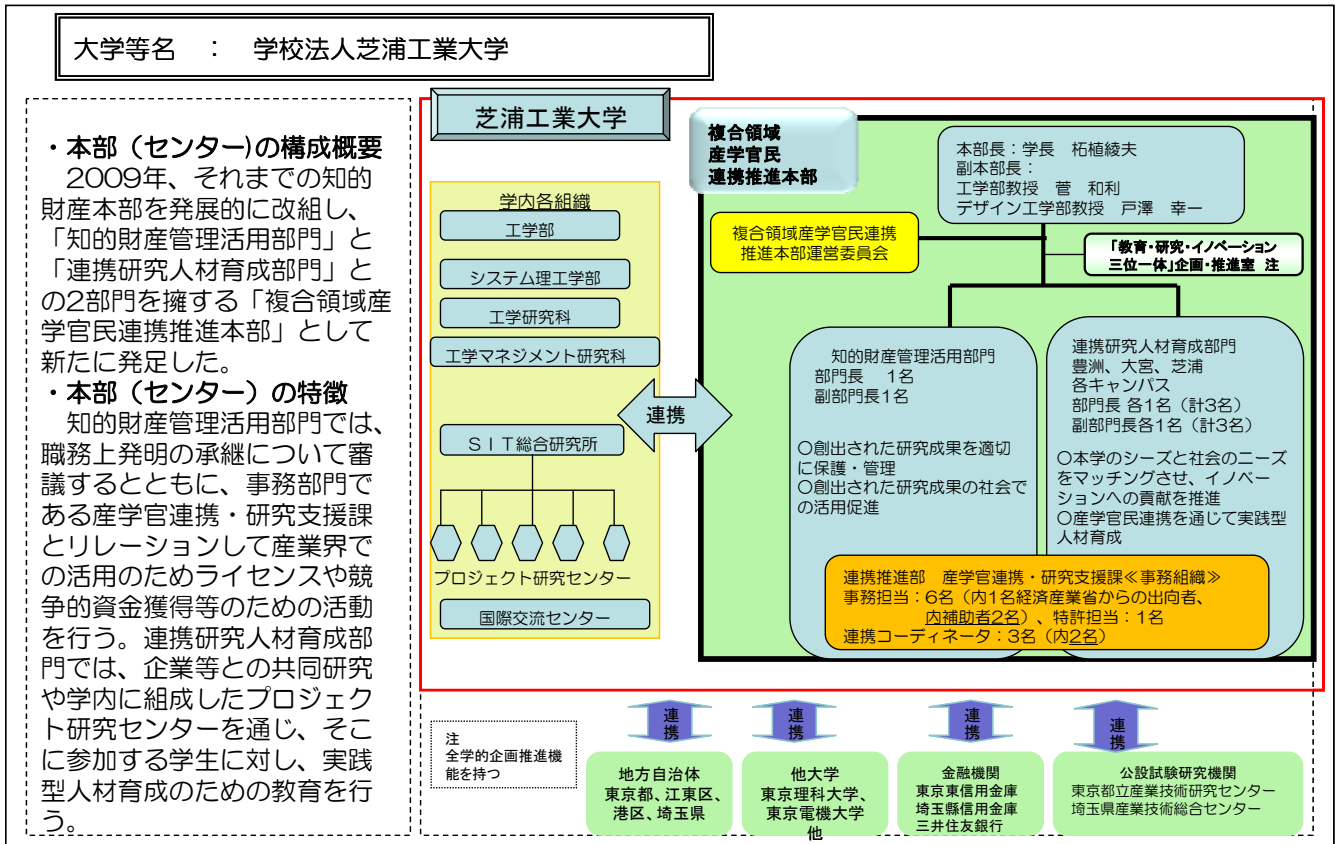


# 芝浦工業大学

## ○ 産学官連携体制図



## ○ 成果事例

### せんべいプロジェクト

大学等名 学校法人芝浦工業大学  
機関名称

#### せんべいパッケージ

#### 要約

色んな産学官連携プロジェクトに学生を参画させ、実践型人材育成へと繋がることを期待している。江東区内にある福祉法人が、入所者の自立支援を目的に行っているせんべい販売事業について、本学教員及び学生が参加して、せんべいを包装する内・外パッケージをデザインした。また、せんべいの味ごとにイラストを変え、江東区内の名所をデザインし、イベントごとにデザインを変えて作成した。学民連携での社会的価値創造に繋がった例である。



円形の厚紙を型押し、箱形に成形することでできるギフトボックスパッケージを考案。あわせて、パッケージの図案についても、学生が発案し作成した。

#### 創出

#### 産学官連携のきっかけ（マッチング）

地元大学ということで、当該福祉法人より直接事務部門に依頼があった。その後、福祉法人担当者、本学教員、学生及び連携コーディネータがプロジェクトチームを組成した。

#### 連携機関

社会福祉法人

#### 活用

#### 技術移転の概要

##### ●地域との連携

今回のプロジェクトでは、江東区地域に根差した知的障害者（児）を支援する社会福祉法人の行う障害者自立支援のためせんべい販売事業に、パッケージ作成に参加・協力することで、知的障害者の社会的自立への努力と機会確保に貢献した。学生のアイデアを社会的価値創造へと連結でき、産学連携での新規事業が僅かではあるが経済的価値創造に繋がることの事例である。技術的な側面からの価値創造とは異なるが、知的障害者の自立支援のためのアイデアとして多くの地域での活用が期待できる。

##### ●社会的価値創造と人材育成

新しい産業創造での共同研究に参画した経験を通じて社会が求める人材を育成するのが本学が目指す産学連携の一般的な形態である。しかし、自らのアイデアを製品開発につなげ、それを販売するまでのプロセスをマネジメントすることを経験したプロジェクト参画学生は多くのことを学んだと確信している。小さな事業ではあるが、社会のために貢献する社会的価値創造と、もっとも厳しい条件の知的障害者の自立化支援、雇用創出に繋がるこのプロジェクトは、「社会と世界に学び、貢献する実践型技術人材育成」を実現した新しいタイプの産学官民連携の一形態である。